

第2学年3組 算数科学習指導案

場所 2年3組教室

1 単元（題材） 図を使って考えよう（本時2／3）

2 本時の目標

まとめて考えて解くよさに気づき、まとめて考える方法で問題を解くことができる。（知識技能）

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
つかむ (5)	<p>1 解き方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゅんに考える方法があったよ。 ・まとめて考える方法があったよ。 <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめて考える方法とじゅんに考える方法の種類の計算方法があることを確認するために、前時に学習したノートを見返すよう児童に伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">図をつかってもんだいをとこう</div>		
深める (3 5)	<p>3 設問△減減の場面の問題を解く。まず、まとめて考える方法で解く。</p> <p>【まとめて考える方法】 $5 + 5 = 10$ $24 - 10 = 14$ 答え14まい</p> <p>次に、じゅんに考える方法で解く。</p> <p>【じゅんに考える方法】 $24 - 5 = 19$ $19 - 5 = 14$ 答え14まい</p> <p>4 設問△をまとめて考える方法とじゅんに考える方法どちらの方法で解きたいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめて考える方がいい。なぜなら、計算しやすいから。 ・まとめて考える方がいい。なぜなら、ひき算が一回ですむから。 ・じゅんに考える方がいい。なぜなら、文章通りに計算すればいいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がまとめて考えることができるように、立式する前に・数図ブロックを操作したり、図にかいたりできるようにして見通しを立てる。 ・まとめて考える方法のよさに気付けるように、まとめて考える方法で解いた後、じゅんに考える方法でも解くよう伝える。
広げる (5)	<p>5 設問△増増の場面の問題をまとめて考える方法で解く。</p> <p>【まとめて考える方法】 $4 + 6 = 10$ $17 + 10 = 27$ 答え27台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめて考える方法が計算しやすいな。 <p>6 本時のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめて考える方法は、じゅんに考える方法よりもかたんに計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を達成するために、設問△は全員が【まとめて考える方法】で問題を解くことを伝える。 ・まとめて考える方法のよさに気付かせるために、4で【じゅんに考える方法】を選んだ児童を意図的に指名し、計算してみた感想を聞く。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめて考えるよさという視点でふりかえりを書くことができるように、「まとめて考える方法は」という文章で書き始めることを伝える。 	

4 評価

まとめて考えると、簡単に計算できることに気付いたか。（活動4，6から）